

# 平成24年度 財政状況

この「財政特集」は、市民の皆さんに「尾道市の家計簿」に相当する財政状況を公表することで尾道市の現状を知っていただき、これからの市政の推進にご理解とご協力をお願いするものです。

前半では平成24年度一般会計・特別会計決算(見込み)を、後半では平成24年度企業会計決算(見込み)をお知らせします。

圖財務課(☎0848-25-7322)

## 一般会計決算(見込み)

福祉や教育、道路整備など市民生活に直接関係する事業を行う会計です。

### 【市税】

歳入全体の約3分の1を占め、歳入の根幹を成しています。評価替えによる固定資産税・都市計画税の減などで、前年度より減少しました。

### 【その他】

使用料、手数料、分担金、負担金、財産収入、寄附金、繰入金

### 【地方交付税】

自治体の財政力に応じて国から交付されるもので、尾道市では、市税収入に次ぐ財源となっています。

### 【国庫支出金・県支出金】

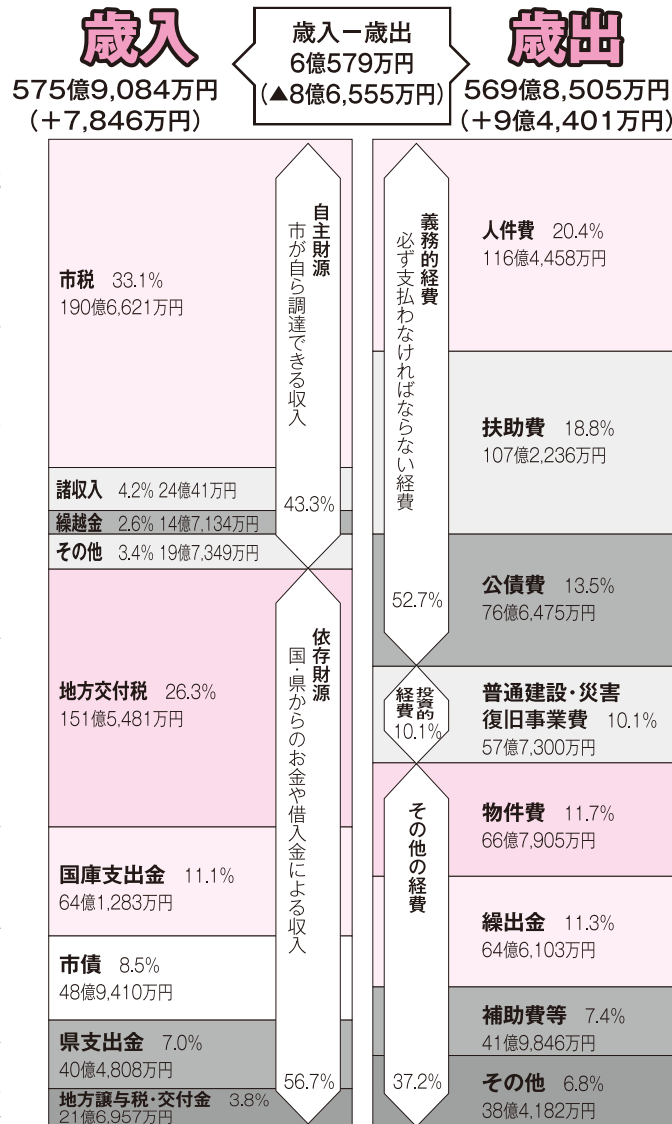
特定の事業目的のために国や県から交付される財源です。国庫支出金は児童手当負担金の減などで前年度より減少し、県支出金は普通建設事業支出金の増などで前年度より増加しました。

### 【市債】

主に建設事業のために国や金融機関から借り入れる資金です。認定こども園建設事業に伴う増や、臨時財政対策債の増などで、前年度より増加しました。

### 【地方譲与税・交付金】

国税として集められた税金の一部を分配されるもので、自動車重量譲与税、地方消費税交付金、自動車取得税交付金などがあります。



実質の黒字額は、平成25年度に繰り越した事業に充てる財源4億473万円を除いた2億106万円(▲8億3,271万円)です。

※( )内は、前年比

### 【人件費】

人員削減等による抑制の効果などで、前年度より減少しました。

### 【扶助費】

児童・子ども手当給付の減はありましたが、自立支援給付や老人保護措置費の増などで、前年度より増加しました。

### 【公債費】

償還終了や借入れ抑制による減はあるものの、旧尾道大学事業特別会計からの地方債承継により、前年度より増加しました。

### 【普通建設事業費】

道路・施設などを建設、改良する経費です。介護保険施設・認定こども園整備費の増などで、前年度より増加しました。

### 【補助費等】

尾道市立大学への補助金、みづぎ総合病院建設改良事業への負担金の増などで、前年度より増加しました。

### 【その他】

維持修繕費、投資・出資・貸付金、積立金

## 市民の負担とサービスの状況

市民1人当たりの  
市税負担額



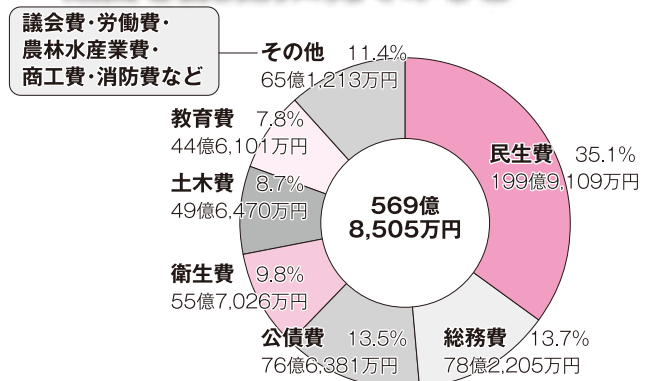
市民1人当たりの  
サービス額



市税のほかに国や県からの補助金などを活用して、行政サービスを実施しました。

※平成25年3月末住民基本台帳人口145,921人で計算

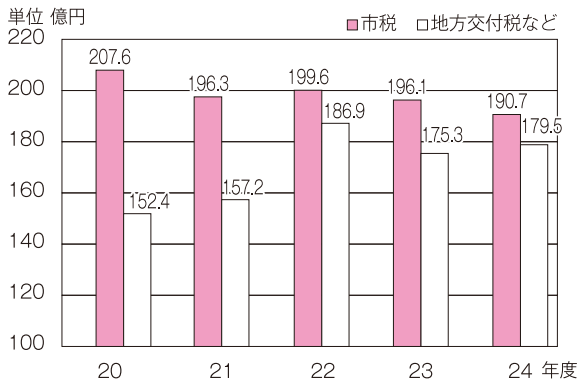
## 歳出を目的別に見てみると...



# 私たちのまち“尾道”の財政状況をくわしく見てみましょう

※普通会計ベースで作成しています。

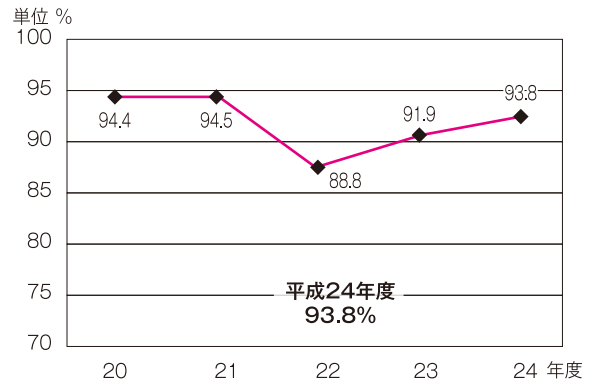
## 市税と地方交付税の推移



平成24年度  
市税 190億6,621万円  
地方交付税など 179億5,192万円

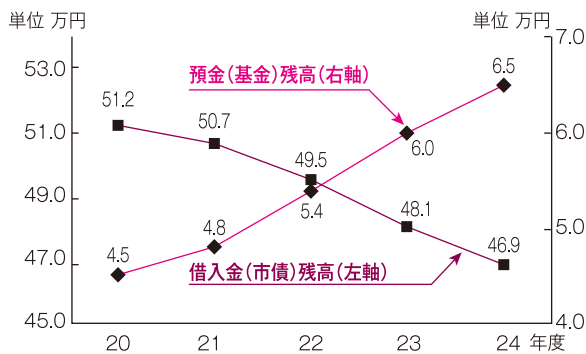
市税収入は減少し、地方交付税など(実質的な地方交付税として臨時財政対策債を加えたもの)は増加しました。

## 経常収支比率の推移



家計でいえば、毎月得られる給料などのうち、食費・光熱水費・ローンの返済など毎月決まって支払う生活費が占める割合のことです。数値が高いほど財政にゆとりがなく硬直化していることを表します。平成24年度は93.8%となり、前年度より1.9ポイント悪化しました。

## 市民1人当たりの預金と借入金

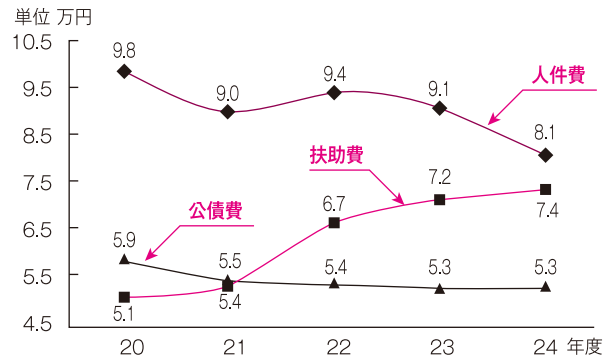


平成24年度末現在  
基金残高 94億9,081万円  
財政調整基金 40億9,384万円  
減債基金 7億9,689万円  
その他特定目的基金 46億8万円

平成24年度末現在  
市債残高 684億6,455万円

市民1人当たりの金額に換算し、過去5年間の推移をみると、借入金(市債の発行)を抑制することにより、市債残高は減少しつつある状況です。平成24年度決算においては、前年度比1万2千円減の46万9千円となっており、預金にあたる基金現在高は、前年度比5千円増の6万5千円となっています。

## 市民1人当たりの義務的経費支出状況



支出の状況について、義務的経費である人件費、扶助費、公債費についてみると、職員人件費や借入金の返済に充てる公債費は減少傾向にありますが、児童手当や自立支援給付費、生活保護費などの扶助費については増加傾向にあり、今後も増加することが見込まれます。

将来に向けて安定した財政運営を行うため、引き続き市税などの自主財源を増やす努力をしながら、義務的経費など経常的に必要な経費の削減に取り組み、ニーズにあった行政サービスを提供できる健全な財政運営を進めていきますので、ご理解、ご協力をお願いします。

※各年度末住民基本台帳人口を算定基礎としています。

### 用語解説

#### 普通会計

他市との財政比較を行うための統計上の会計  
尾道市では、一般会計に港湾事業特別会計、夜間診療所事業特別会計、救護施設事業特別会計を合わせたもの

#### 財政調整基金

将来の財政の健全な運営に役立てるために積み立てられる預金

#### 減債基金

将来の市債償還に充てるために積み立てられる預金

#### 特定目的基金

特定の事業に使うために積み立てられる預金  
尾道市では、地域福祉基金、教育文化基金、土地開発基金など

#### 臨時財政対策債

国税収入が減少し、普通交付税を配分する財源が不足した場合、その不足分を補うために発行する市債

#### 人件費

職員の給料・手当・共済費や特別職の報酬などの経費

#### 扶助費

生活困窮者、児童、高齢者、心身障害者などに対する福祉の経費

#### 公債費

長期の借金の返済金や短期(1年以内)の借入金の利子

#### 義務的経費

人件費、扶助費、公債費の総称、必ず支出しなければならない経費

# 平成24年度の主な事業

## 多様な交流の輪が 広がるまち

海フェスタおのみち開催事業  
5,294万円



## 活力あふれる産業が 育つまち

海事都市推進事業  
495万円



夏の海事学習会 ポートふしぎ発見

## 尾道の持つ感性の豊かさが 誇りになるまち

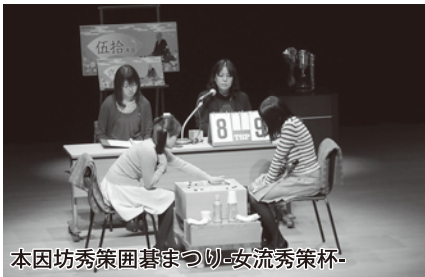
歴史的風致維持向上事業  
1億2,379万円



道路美化事業

## 尾道の持つ感性の豊かさが 誇りになるまち

囲碁のまちづくり推進事業  
632万円



本因坊秀策囲碁まつり 女流秀策杯

## 暮らしの安全性と 快適性が高いまち

消防車両整備事業(高規格救急車、指揮車、救助工作車)  
1億6,270万円



救助工作車

## 子育てや長寿を楽しみ、 誰もが幸せに暮らせるまち

(仮称)向島認定こども園建設事業  
5億6,494万円



## 都市計画事業に要する経費と都市計画税

(単位:千円、%)

都市計画税は、都市計画事業(街路、公園、下水道、区画整理など)の費用に充てるため負担していただく税金です。

平成24年度は、街路、下水道などの事業と、都市計画事業のために借り入れた地方債の償還に充てられました。

事業に充当された一般財源に占める都市計画税の割合は、77.3%となっています。

年度	都市計画 事業費	地方債 償還額	計	充当一般 財源A	うち都市 計画税B	充当率 B/A
22	978,371	761,214	1,739,585	1,583,801	1,317,415	83.2
23	1,051,062	740,121	1,791,183	1,574,209	1,306,753	83.0
24	1,072,880	742,985	1,815,865	1,600,333	1,236,657	77.3

## 特別会計決算(見込み)

特定の事業を行い、一般会計と財布を分けることで収支をはっきりさせる会計です。

区 分	歳入額	歳出額	差引額
港湾事業	1億8,131万円	1億6,904万円	1,227万円
国民健康保険事業	178億7,325万円	174億8,256万円	3億9,069万円
千光寺山索道事業	7,853万円	7,563万円	290万円
駐車場事業	1億4,606万円	1億4,606万円	0円
夜間救急診療所事業	1億8,337万円	1億8,337万円	0円
公共下水道事業	16億9,948万円	16億9,948万円	0円
介護保険事業(保険事業勘定)	148億9,251万円	148億4,728万円	4,523万円
介護保険事業(介護サービス事業勘定)	1,494万円	1,494万円	0円
漁業集落排水事業	1,629万円	1,629万円	0円
救護施設事業	2億3,956万円	2億3,956万円	0円
特定環境保全公共下水道事業	1億7,942万円	1億7,942万円	0円
農業集落排水事業	3,221万円	3,221万円	0円
渡船事業	3,278万円	3,278万円	0円
後期高齢者医療事業	20億5,497万円	20億964万円	4,533万円
合 計	376億2,468万円	371億2,826万円	4億9,642万円

# 企業会計決算(見込み)

事業で得られる収入で支出をまかなう会計です。  
水道・病院の2つの会計があります。

## 水道事業

## 園水道局庶務課(☎0848-37-8701)

平成24年度の水道事業は、水道未普及地域解消に向けて3カ年継続による御調西部上水道拡張事業に着手しました。また、老朽化した田熊ポンプ場の築造及び耐震管への布設替えを施工し、地震等の災害に強く安定した給水を実現する施設整備に努めました。

収益的収支では、給水収益が前年度に引き続いて景気の動向に左右される業務用を中心に減少しましたが、受託管理収益の増加などで、事業収益は、前年度に比べ3,715万9千円の増収となりました。一方、事業費用は、受水費及び繰延勘定償却などの減少があるものの、拡張事業による減価償却費の増加や広島県企業局からの受託建設工事増による受託管理費の増加などで、前年度に比べ1億6,069万7千円の費用増とな

### 損益計算書 24.4.1~25.3.31 (単位:千円)

費用の部		収益の部	
科目	金額	科目	金額
職員給与費	580,193	水道料金収入	3,547,795
物件費	873,658	受託工事収益	2,992
受水費	1,514,331	受託管理収益	493,223
支払利息	122,778	その他	94,871
その他	822,038		
特別損失	6,813		
当年度純利益	219,070		
合計	4,138,881	合計	4,138,881

り、収支差引、2億1,907万円の純利益を計上することができました。

引き続き、損益は黒字を維持しているものの、料金収入の増が期待できない状況にあるため、より一層コスト意識に徹した経営の効率化を図ることで、安全で良質な水の安定供給に努めます。

### 貸借対照表 25.3.31現在 (単位:千円)

借方(資産の部)		貸方(負債資本の部)	
科目	金額	科目	金額
有形固定資産	25,095,520	固定負債	292,482
無形固定資産	4,903	流動負債	1,434,414
流動資産	3,906,264	自己資本金	11,349,606
繰延勘定	19,637	借入資本金	5,226,426
		資本剰余金	9,270,793
		利益剰余金	1,452,603
		減債積立金	280,000
		建設改良積立金	950,000
		当年度未処分利益剰余金	222,603
		繰越利益剰余金	3,533
		当年度純利益	219,070
合計	29,026,324	合計	29,026,324

## 病院事業

## 園市民病院庶務課(☎0848-47-1155)

市民病院は、地域医療連携の一層の推進と救急医療の更なる充実を期して、最新鋭のCT装置を導入しました。また、高度・多様化する医療需要に対応するため、超音波画像診断装置や鏡視下手術システム等を更新するなど、各種医療機器や検査機器の一層の充実を図りました。

瀬戸田診療所では、旧瀬戸田病院の取り壊しと駐車場の整備工事が終了し、平成22年度から3年計画で実施した瀬戸田診療所建築事業が完了しました。

公立みつぎ総合病院は、地域包括ケアシステムの構築により、救急医療及び疾病の治療から地域住民の健康づくり、介護予防、リハビリテーション、在宅ケア、さらに介護・福祉までシームレスなサービス提供をしてきました。主な事業として、平成23年度から3カ年事業の病院増改築工事の増築棟が完成しました。また、チェアインバスや医用エレベーターなど各種医療機器や検査機器の充実も図りました。

市民病院の患者数は、入院97,949人、外来152,355人、合計250,304人となりました。

収益的収支については、事業収益77億603万9,945円に対し事業費用76億1,894万7,277円で、差引8,709万9,218円の純利益を計上することができました。

### 損益計算書 24.4.1~25.3.31 (単位:千円)

費用の部		収益の部	
科目	金額	科目	金額
職員給与費	7,906,920	入院収益	7,498,835
物件費	2,423,330	外来収益	2,962,738
支払利息	114,702	その他医療収益	1,149,245
その他	3,340,557	その他	2,299,627
特別損失	25,028	特別利益	1,442
当年度純利益	101,350		
合計	13,911,887	合計	13,911,887

公立みつぎ総合病院の患者数は、入院80,258人、外来145,262人、合計225,520人となりました。

収益的収支については、事業収益62億584万7,535円に対し事業費用61億9,159万6,494円で、差引1,425万1,041円の純利益を計上することができました。

市民病院、公立みつぎ総合病院とも、地域住民の医療ニーズ、介護や保健・福祉ニーズに応えるため、引き続き効率的な運営を図るとともに、健全経営に努め、地域の中核病院としての役割を果たしていきます。

### 貸借対照表 25.3.31現在 (単位:千円)

借方(資産の部)		貸方(負債資本の部)	
科目	金額	科目	金額
有形固定資産	15,466,532	固定負債	603,945
無形固定資産	1,970	流動負債	1,230,408
投資	9,626	自己資本金	8,069,181
流動資産	5,519,970	借入資本金	5,866,655
繰延勘定	408,476	資本剰余金	2,536,251
		利益剰余金	3,100,134
		減債積立金	270,000
		建設改良積立金	100,000
		利益積立金	90,000
		その他積立金	0
		当年度未処分利益剰余金	2,640,134
		繰越利益剰余金	2,538,784
		当年度純利益	101,350
合計	21,406,574	合計	21,406,574